



ホップ ステップ ワーク

本校では、小学部・中学部・高等部と、各段階に応じて系統的に進路学習を進めています。小学部では、将来に向けた土台づくりとして、基本的な生活習慣の定着や、ルール・マナーを守って集団生活に参加する力、日常生活に生かせる基礎的な学力の習得に取り組んでいます。今回は、その中でも小学部6年生の生活単元学習の取組を紹介します。



働く人（小学部6年生 生活単元学習の授業）

小学部6年生では、1学期に「学校で働く人」の学習を行いました。保健室の先生や校務助手の方々など、学校で働いている人に日頃の仕事内容や仕事をしていて嬉しかったこと、苦勞することなどをインタビューしました。

インタビュー後は、児童が聞き取った内容をグループごとにまとめ、発表を行いました。発表を通して、児童からは「学校では1日にごみが8袋も出るんだ!」という驚きの声があがったり、これまで気付かなかった発見があったりしました。また、校内の様々な仕事の大切さに気付き、「いつも掃除をしてくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝える児童の姿も見られました。

9月には「地域で働く人」の学習の一環として、アルビス姫野店を訪問しました。店内の見学に加え、バックヤードではパソコンを使った商品の管理や、精肉・鮮魚の加工、商品の陳列作業など、普段はなかなか見ることのできない業務の様子を間近で見学しました。店長さんへのインタビューでは、約2万種類もの商品を取り扱っていることを伺い、その多さに児童たちは驚きの声をあげていました。

今回の学習を通して、仕事に興味をもち、働くことの大切さを学ぶとともに、地域で働く人への感謝の気持ちを深める貴重な機会となりました。



小学部段階から育てたい力 ～高等部卒業後の生活に向けて今からできること～

①基本的な生活習慣

～身の回りのことを自分でできるように～

- ・食事
(箸やスプーンを使ってこぼさずに食べる)
- ・排せつ
(一人でトイレで排せつできる)
- ・着替え
(服の前後、裏返しが分かり一人で着替えることができる)
- ・清潔
(手洗いやうがい、歯磨き、洗顔ができる)

できることからスモールステップで

ワンポイントアドバイス

トイレや洗面所を汚さないように使用できるとよい。

②コミュニケーションの力

～自分の気持ちや要求を伝えることができるように～

- ・言葉や身振り
- ・カードや写真

子供に合った表現方法で



ワンポイントアドバイス

気持ちを代弁してあげると、自分の気持ちを分かってもらえたという安心感につながる。→気持ちのコントロールができるようになる。

③社会性

～集団生活ができるように～

- ・元気な挨拶
- ・返事
- ・「ありがとう」が言える
- ・協調性(仲良く過ごす)
- ・ルールを守る

遊びや体験活動の中で
社会のルールを身に付けよう

④その他

～「働く」「楽しむ」ために～

- ・役割を果たす
(お手伝い、そうじ、係活動)
- ・趣味、好きなことを見つける
- ・地域の中での体験を増やす
(公共交通機関を利用する、行事や催しに参加する)

失敗から学ぶことも大切です。



人の役に立つ体験、褒められて嬉しいと感じる体験を積むと、将来、働く喜びを感じられるようになります。

小学部6年生と中学部2年生の児童生徒（希望者）が、地域の障害福祉サービス事業所や企業の協力を得て仕事体験・職場体験を行いました。今年度は、小学部6年生13名、中学部2年生9名の参加がありました。

「働く」ことに興味をもったり、働くために必要な力や態度について考えたりするとともに、働く喜びを感じてほしいと考えています。

高福レストラン（おかずの盛付け、接客）



りすの森（カフェの開店準備、スイーツ作り）



cafeしえる

（開店準備、スイーツの材料の計量）



ワークスタかおか（部品数え、袋詰め）



たまねぎカフェ

（おかずの盛付け、接客）



すこやか26

（手袋の袋詰め）



アルビスクリーンサポート株式会社

（タオル畳み）



る・ふつくらん

（パン生地丸め、パン袋のラベル貼り、パンの袋入れ）



小学部児童の仕事体験・中学部生徒の職場体験 協力事業所一覧

協力事業所	体験内容
①りすの森 (COCOLIS_coffee)	開店準備(テーブル拭き、コーヒゼリー作り、クッキー作り)、接客
②高福レストラン	椅子拭き、おかずの盛付け、ランチのお運び
③ワークスタかおか	軽作業(部品数え、袋詰め)
④る・ふっくらん	パン生地丸め、パン袋のラベル貼り、パンの袋入れ
⑤えみふる(cafeしえる)	開店準備(テーブル拭き、スプーンの消毒、おかずの盛付け)接客、スイーツの材料計量、スイーツの袋詰め
⑥bーらいふ・きゃんぱす (たまねぎカフェ)	テーブル拭き、おかずの盛付け、接客
⑦すこやか26 1号店	軽作業(手袋の袋詰め、部品の袋入れ・袋とじ)
⑧アルビスクリーンサポート 株式会社	タオル畳み

お知らせ

11月5日(水)から、高等部第2回就業体験が始まります。

11月28日(金)5.6限には就業体験報告会を実施します。高等部1.2年生の保護者に公開しますので、ご参観いただき、卒業後の進路について考える機会にさせていただきたいと思います。



(高等部)先輩に学ぶ進路学習会 9月9日(火)

社会で働く本校卒業生と事業所の方を学校にお招きし、仕事で頑張っていることや働いていて嬉しいこと、休日の過ごし方などについて話を聞きました。先輩が実際に働いている様子も動画で見ました。生徒たちは、先輩が話す内容をワークシートにメモしたり、事前に考えた質問を発表したりして、自分たちと年齢の近い先輩方の話を真剣に聞いていました。事業所の方からは、働くために大切なことをアドバイスしていただきました。



令和5年度卒業生 Aさん(ヤマト運輸株式会社 勤務)

<仕事内容>
商品の仕分け、伝票分け 等
<頑張っていること>
数を間違えないようにすること
<大変なこと>
暑い中で仕事をする
重いものを運ぶこと
<働いて嬉しかったこと>
給料でライブに行ったこと
<休日の過ごし方>
買い物、映画、ゲーム、YouTube
<後輩へのメッセージ>
体力をつけることが大切です!



<事業所の方より>

(Aさんの良いところ)
・明るく誰とでも話がができる
・分からないことを相談できる



令和5年度卒業生 Bさん(ジョブステーションさくら 勤務)

<仕事内容>
部品の袋詰め、袋とじ
<頑張っていること>
丁寧に仕事をする
<働いて嬉しかったこと>
新しい仕事ができたと
イベントがあること
<給料の使い道>
switch2を買うために貯金
家族へのプレゼント
<高岡支援学校で学んだこと>
報告をきちんとすること



<事業所の方より>

(Bさんの良いところ)
・仕事を頑張っている
・みんなと仲良し

<事業所の方よりアドバイス> (できるようになってほしいこと)

・明るい挨拶 ・きちんと返事
・報告、連絡、相談 ・指示や決まりを守る
・規則正しい生活習慣
・チャレンジ精神

生徒からは、「学校で学んだことは社会人になっても大切だと改めて学びました。」「先輩の働く姿がかっこよかったです。僕も明るい挨拶ができるようになりたいです。」「先輩の話を聞いて、僕も働きたくなりました。先輩がかっこよかったです。」「ねじの袋詰めをきれいにしているいいと思いました。僕も仕事に集中したいです。作業学習を頑張ります。」「ダンボールの積み方を工夫しているところや数を間違えずに仕事をしているところがいいと思いました。」などの感想が聞かれました。

仕事見学会受入企業

- ・有限会社 荒木商会
- ・株式会社 松村紙工所
- ・特定非営利活動法人プラスワン
- ・有限会社 アサヒヤ
- ・一般社団法人はたらくよろこび
- ・株式会社 ロカスタイル

特別支援学校の生徒と企業の経営者や社員が触れ合う機会をもつことで、

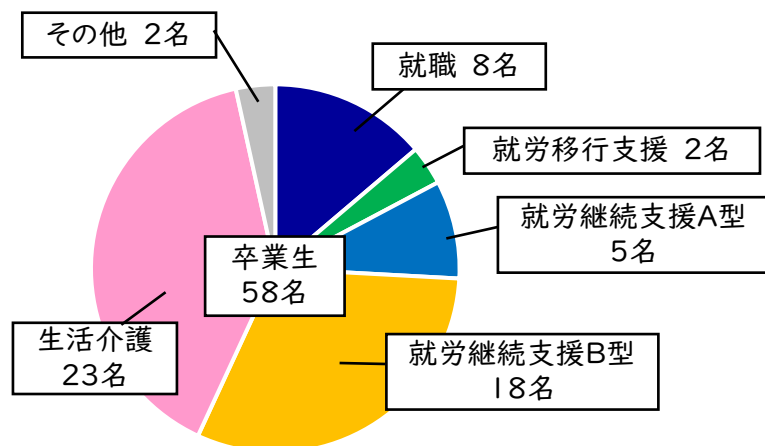
◎生徒は「社会と仕事について知る」

◎企業の経営者や社員は「障害のある人への理解を深める」ことを目的に毎年、夏休み中に実施されています。



進路情報 卒業後の進路先について

過去3年間高等部卒業生の進路状況 (令和4年度～6年度)



就労継続支援A型・B型について

障害福祉サービスの訓練等給付で、働くための知識、能力の向上のための訓練を行います。将来的には「働く力」を高めて、A型では就職を目指します。B型でもA型や就職へのステップアップを目指します。

A型

ハローワークを通して雇用契約を結び、**最低賃金(1,062円)**をもらって働く。自力通勤で週20時間以上働くことや賃金に見合う働きが求められる。

B型

出来高に応じた工賃をもらって働く。自分のペースで働くことができる。



高等部卒業後は、障害福祉サービスを利用する方がほとんどですが、ここ数年は、一般企業に就職する方も増えてきています。

近年、障害者雇用への理解が進み、特に、民間企業での障害者の雇用は、年々拡大しています。障害のある方も、自分の得意な分野で働くことを通じて社会参加できる共生社会を実現するために、障害者の法定雇用率も段階的に引き上げられてきました。

障害者の法定雇用率 2.5%
(令和6年4月～)

本校の就職先としては、かつては、銅器や漆器などの地場産業やダンボール関係、アルミ関係等の製造業への就職が多かったのですが、近年は、運輸業、清掃や販売、介護施設の環境整備等のサービス業が多くなっています。

富山県特別支援学校地域就労支援アドバイザーやハローワークと連携して職場開拓を行っています。



生活介護について

障害福祉サービスの介護給付の一つで、日中過ごすための場所になります。自立の促進、生活面での支援、身体機能の維持向上が目的です。通所することで様々なサービスを受けることができます。

- ・入浴、トイレ、食事などの介助
- ・その他日常生活上での介助
- ・身体機能や生活向上に必要な援助
- ・創作活動や生産活動の機会の提供
- ・社会貢献できることを提供 等



生産活動に対しては、工賃が支払われる場合もあります。

どちらも、身の回りのことを自分でする、清潔な身だしなみ等の基本的な生活習慣が身に付いていることが必要です。その他にも、気持ちのコントロールができ情緒が安定していること、ルールを守って集団活動に参加できること、人の話を素直に聞けることが大切になります。

また、A型は14時、B型は15～16時ごろ仕事が終わりと、帰宅後は家で過ごすことになります。